

障連協にゅーす

第35号

発行日 2015年7月25日
 編集 NPO法人
 旭川障害者連絡協議会
 発行者 高津 修
 住所 旭川市宮前1条3丁目3番7号
 旭川市障害者福祉センター
 「おびった」3F
 電話 0166-31-2226

■障連協にゅーす 35号目次

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 平成27年第14回定期総会特集 | 6 平成26年度計算書報告・平成27年度計算書予算表 |
| 2 平成26年度活動方針についての報告 | 7 スポーツフェスタ・「難病相談支援センター」設置等について |
| 4 平成27年度活動方針 | 8 「難病医療費助成制度」受付開始・リングブル交換車イス |

定期総会特集号

2015年 特定非営利活動法人旭川障害者連絡協議会 定期総会
 と き 2015年5月30日(土) 午後1時30分～午後3時40分
 ところ 旭川市障害者福祉センター「おびった」会議室1

今年度の定期総会開催前に障害福祉課から福祉計画について各団体との懇談会準備の説明と観光課よりプレミアム商品券販売の説明があり、その後定期総会が開催となりました。平成27年5月30日午後1時45分定刻を若干変更して、第14回定期総会がおびった第1会議室にて開催されました。法人を代表して高津修理事長が開催にあたっての挨拶を行い、その後来賓として岡田雅勝旭川副市長、塩尻伸司旭川市議会議長、社会福祉協議会佐藤常務理事よりそれぞれご祝辞を頂きました。各来賓のご挨拶が終わり会場を退席された後、総会の次第に沿って進行が行われました。はじめに議長及び議事録署名人の選出の議にあたり意見を求めたところ、事務局の推薦の一任を受け事務局の指名で議長及び議事録署名人の選出が行われました。議長はドンマイの会の渡辺真弓様が指名され、また、議事録署名人には旭障連の小廣川敦子様とスポーツ協会の阿部龍雄様の2名が指名され各議案の審議に入りました。

第1号議案《平成26年度の事業活動報告》

第2号議案《平成26年度の活動計算書報告》

について事務局より説明を行い、第3号議案

《平成26年度活動計算書の監査報告》

法人の監査人による監査結果報告を行いました。福祉バス利用についての質問やAEDの自主訓練について質問が出ました。

第4号議案《平成27年度の事業活動予定(案)》

第5号議案《平成27年度の活動計算書(案)》についても事務局から一括で説明が行なわれました。

事業活動予定(案)の中で、平成27年度の自主事業計画のおびったまつりが開催されないことの質問や意見が多く出されていました。

また、みんなの声の報告に関連して回答方法・障害者に対する対応の問題などの質問が出ました。各質問に関して担当者・事務局がそれぞれ回答した後、議長が他の意見が無いことを確認して議案通りの提案をもって賛成多数を受けこの度の総会をまとめました。定期総会議案記事を次に掲載いたします。



©ナカジマヨシカ

【平成26年度活動についての報告】

1. 市委託事業

事業名	実施日	実施場所	参加人数
旭川市障害者水泳教室	平成26年5月 7日・14日・21日・28日	おびった1階 水浴訓練室（プール）	76名
旭川市障害者スポーツフェスタ	平成26年6月22日（日）	おびった2階 体育館	229名
旭川ゴロ卓球バレー教室 スカットボール教室 グラントゴルフ教室	平成27年3月8日（日）	おびった2階 体育館	20名
旭川市障害者水泳教室	平成26年10月 8日・15日・22日・29日	おびった1階 水浴訓練室（プール）	76名
旭川市障害者スポーツ記録大会	平成26年10月26日（日）	おびった体育館・プール	141名
フロアーホッケー教室	平成27年 2月 8日（日）	おびった2階 体育館	21名
旭川卓球ラリー教室	平成26年 9月28日（日）	おびった2階 体育館	19名

2. 自主事業

(1) 第10回おびったまつり

開催日：平成26年8月9日（土）11:00～16:30

場 所：おびった広場（公園及び駐車場）

来場者：3,400人

アトラクション：昭和オールスターズ、テスク&祭人、PL旭川IMBA、チームぴあど
らごん&なんじゃ祭本舗：レイアロハ・フラ・スタジオ旭川、旭川実業高等学校
クリスタル・オブ・ジョイ、旭川北の大地、絆～夢乱舞～・旭川三親会・いちもくナビ
ブーケ・フルーリ

(2) 広報部報告

「障連協にゅーす」32号～34号の発行

ホームページの更新 アドレス：<http://shourenkyo.org/>

(3) 館内利用

体育館イベント 主なイベント：

○動物愛護週間「市民フォーラム」

○特別支援合同学習

○おもちゃ博

○バーサーロペット・ジャパン歩くスキー大会
など50回

館内作品展示 主な展示会：

○車イスバスケット写真展

○スポーツフェスタ写真展

など5回（5団体）

平成26年度 館内作品展示

展示期間	団 体 名	展示内容	展示目的
6月21日～6月22日	旭川障害者連絡協議会	写真	旭川市障害者スポーツ事業を 広く知ってもらうため
12月2日～12月9日	障害者週間記念事業	パネル	旭川市障害者週間記念事業の周知活動
2月24日～3月10日	ちぎり絵サークル	ちぎり絵	ちぎり絵を多くの人に広めたい

3. 要望事項

- (1) 差別禁止法の制定を旭川市議会として決議を要望
- (2) 旭川市自立支援協議会の充実・強化
- (3) 成年後見制度の支援
- (4) 障害者雇用・生活支援センターの支援
- (5) 公共施設等の清掃や公園管理への参入
- (6) 旭川障害者計画のバリアフリー公営住宅の拡充
単身者も含む
- (7) 地場産品販売施設計画への加入



4. 施設管理とサービス向上

- (1) 利用向上委員会及利用者懇談会を定期的に実施
- (2) 「みんなの声」の投書の中で実現可能な要望は直ちに実行する
- (3) 早期点検、計画的にメンテナンス等により保守点検コスト削減を行うと共に、施設内機器を良好な状態に保ち職員のコスト削減意識を持たせる
- (4) 役職員の職場研修の実施

5. 防犯、防災

- (1) 防犯対応
 - ①夜間・休日、イオンディライトサービスにより機械警備を継続実施
 - ②日中、職員による定時点検確認作業を実施
- (2) 防災対策
 - ①センター消防計画書及び防火対象物点検を行う
 - ②事故の無いよう事前の消防訓練等実施（年2回以上）
 - ③AED使用の自主訓練（随時）

6. 協働行動

- (1) 「旭川市社会福祉審議会委員」
- (2) 「旭川市障害者自立支援審査会委員」
- (3) 「旭川市社会福祉協議会評議員」
- (4) 「旭川市福祉有償運送運営協議会」
- (5) 「旭川市特別支援教育推進委員会委員」
- (6) 「旭川市防災会議委嘱委員」
- (7) 「旭川市共同募金委員会評議員」
- (8) 「旭川市生活交通確保対策協議会」
- (9) 「旭川市成年後見支援センター運営委員会」

平成27年度障連協事業の日程

(順 不 同)

開催日時	開催場所	実施内容	備考
5月13・20・27・6月3日	旭川市障害者水泳教室	水浴訓練室	※終了いたしました
6月28日(日)	旭川市障害者スポーツフェスタ	全 館	――
8月23日(日)	軽レクリエーションスポーツ教室	体育館	
10月7・14・21・28日	旭川市障害者水泳教室	水浴訓練室	
11月 1日(日)	旭川市『障害者スポーツ記録大会』	全 館	卓球、盲人卓球、水泳、ボッチャ等
12月 6日(日)	旭川市『障害者週間』記念事業	全 館	
27年2月 7日(日)	フロアホッケー教室	体育館	
27年3月 6日(日)	ゴロ卓球バレー教室	体育館	

*有料使用施設 平成26年度

(利用人数)

	会議室 1	会議室 2	会議室 3	和室 研修室	陶芸室	調理室	映像 音響 スタジオ	水浴 訓練室 (団体)	水浴 訓練室 (個人)	体育館 (団体)	体育館 (個人)	合計
障害者	11,388	1,792	4,336	3,755	14	650	2,528	7,487	5,718	12,595	44	50,307
一般	5,030	1,059	1,649	429	12	698	466	11,341	2,613	4,957	135	28,389
合計	16,418	2,851	5,985	4,184	26	1,348	2,994	18,828	8,331	17,552	179	78,696

*有料使用施設 平成25年度

(利用人数)

	会議室 1	会議室 2	会議室 3	和室 研修室	陶芸室	調理室	映像 音響 スタジオ	水浴 訓練室 (団体)	水浴 訓練室 (個人)	体育館 (団体)	体育館 (個人)	合計
障害者	11,433	1,850	3,998	3,797	25	782	2,553	11,377	14,307	10,902	66	57,090
一般	8,609	568	2,287	696	16	274	419	11,658	8,955	11,668	136	45,286
合計	20,042	2,418	6,285	4,493	41	1,056	2,972	19,035	23,262	22,570	202	102,376

*無料使用施設 平成26年度

(利用人数)

	機能回復 訓練室	教養娯楽室	情報 コーナー	周回廊	合計
障害者	5,449	366	852	5,871	12,538
一般	5,385	283	532	23,575	29,775
合計	10,834	649	1,384	29,446	42,313



フォトボランティア旭川

年間利用者数：135,684人

*無料使用施設 平成25年度

(利用人数)

	機能回復 訓練室	教養娯楽室	情報 コーナー	周回廊	合計
障害者	5,831	373	609	5,949	12,762
一般	4,261	202	389	21,289	26,141
合計	10,092	575	998	27,238	38,903



フォトボランティア旭川

【平成27年度活動方針】

4月に知事選・道義選・市議選が続けて行われました。

地域の行政を担い、地域の人達の生活を考える重要な方達が選任されました。とりわけ都市部の福祉と地方の福祉とは、中身に隔たりがあり、本来ならばどの地域で生活を送っても同じ環境で送れなければならないのですが。国は地方創生が進むことを方針としていますが、あらゆる点でもっと地方を活性化させて、その地域で安心して生涯を送れるようにしたいものです。そのためには、障害者の権利保障や福祉政策の充実を求める運動が必要です。また、高齢化を迎える地域で生活をする障害者が、今後も地域の理解や連携を充実する必要が高まっていると考えます。そのための行政関係機関・関係団体等とのネットワークの充実を含め、障害者の仲間への情報発信が不可欠と考えます。これからも活動中心のなっている、旭川市障害者福祉センターを拠点として、同センター指定管理者として、利用者へのサービスの提供も充実を図る努力を続けると共に、同センターを拠点とする障害者の人達が活動・社会参加出来る場の確保と施設の安全管理・利用者サービス向上に努め今年度の事業計画とします。

1. 旭川市委託事業

- (1) 旭川市障害者スポーツ事業の実施と情報の提供
- (2) 旭川市障害者週間記念事業の実施
- (3) 旭川市障害者福祉センターシャトルバス管理運営事業の実施
- (4) 旭川市障害者福祉バス管理運営事業の実施

2. 自主事業計画

- (1) 広報誌「障連協にゅーす」年3回発行とホームページの更新
- (2) 障害者スポーツやイベントの拡大や応援
- (3) 地域住民との交流を図るための実施
- (4) 地域との文化・スポーツ交流の促進
- (5) 障害者地域共同事業所・障害者地域活動支援センターの製品即売の協力
- (6) 清掃事業などを通じての障害者雇用対策

3. 要望事項

- (1) 差別禁止法の制定を旭川市議会として決議を要望
- (2) 旭川市自立支援協議会の支援
- (3) 成年後見制度の支援
- (4) 障害者雇用・生活支援センターの支援
- (5) 公共施設等の清掃や公園管理への参入
- (6) 旭川障害者計画のバリアフリー公営住宅の拡充。単身者も含む。
- (7) 地場産品販売施設計画への加入
- (8) 旭川市に高等養護学校設立への活動支援

4. 旭川市障害者福祉センター管理運営事業の施設管理とサービス向上

- (1) 利用向上委員会及び利用者懇談会を実施する
- (2) 「みんなの声」投書の中で実現可能な要望は、直ちに実行する
- (3) 館内に市民や団体から寄せられる展示物・宣伝物を利用者へ情報提供
- (4) 早期点検、計画的にメンテナンス等により保守点検コスト削減を行うと共に、施設内機器を良好な状況に保ち、職員のコスト削減意識を持たせる
- (5) 役職員の職場研修の実施
- (6) 防犯対応
 - ①夜間・休日、イオンデイトライトサービスにより機械警備を継続実施
 - ②日中、職員による定時点検確認作業
- (7) 防災対策
 - ①当該センター消防計画書及び防火対象物点検を行う。
 - ②事故の無いよう事前の消防訓練等実施（年2回以上）
 - ③AED使用の自主訓練（随時）

5. 協働行動

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| (1) 「旭川市社会福祉審議会委員」 | (6) 「旭川市防災会議委嘱委員」 |
| (2) 「旭川市障害者総合支援法市町村支援審査会委員」 | (7) 「旭川市共同募金委員会評議員」 |
| (3) 「旭川市社会福祉協議会評議員」 | (8) 「旭川市生活交通確保対策協議会」 |
| (4) 「旭川市福祉有償運送運営協議会」 | (9) 「旭川市成年後見支援センター運営委員会」 |
| (5) 「旭川市特別支援教育推進委員会委員」 | |

収入の部	
会費収入	160,000
交流会費等	146,000
自販機手数料	612,644
寄付金収入	86,000
雑収入	8,408,087
セクター利用料金	9,756,472
旭川市より	
バス運行補助事業	7,874,000
福祉バス運行事業	6,481,482
スポーツ教室	253,500
スポーツフェスタ	608,000
スポーツ記録大会	588,500
スポーツ周知業務	276,150
障害者週間記念事業	910,000
委託管理運営事業	122,868,458
小計	159,029,293
仮受消費税	8,938,405
前年度余剰金	12,826,521
障連協事務委託費	11,922,157
合計	192,716,376

収入の部	
会費収入	166,000
交流会費等	150,000
自販機手数料	600,000
寄付金収入	50,000
雑収入	5,600,000
センター利用料金	9,550,000
旭川市より	7,874,000
バス運行補助事業	6,481,482
福祉バス運行事業	253,500
スポーツ教室	608,000
スポーツフェスタ	588,500
スポーツ記録大会	276,150
スポーツ周知業務	910,000
障害者週間記念事業	123,601,851
委託管理運営事業	156,709,483
小計	11,889,559
仮受消費税	17,761,091
前年度余剰金	9,166,342
前連協事務委託費	195,526,475
合計	

平成27年度旭川市障害者スポーツフェスタ

6月28日（日）午前9：30～午後3：00全参加数132名、ボランティア他68名

今年は6月に入ってから天候不順続き、肌寒い中、各競技が行われました。旭川市長代理の岡田政勝旭川副市長より大会長あいさつがありました。つづいて高津修大会運営委員長のあいさつがあり、塩尻伸司旭川市議会議長様より来賓祝辞を頂きました。競技種目は、スカット得点、ビンゴボッチャ、パンと景品どちらかな？玉入れ、絵札合わせ・ラッキーレース、チームリレー幸運は誰の手に？、綱引き、全部で7種目を行いました。今年も多くのボランティアさんにお手伝い頂き、ました。招集係、用具係、競技デモンストレーション&競技介助、放送係、賞品案内、競技終了者出口誘導等に、ご協力頂きました。最後にボランティアさんによるラン&タグパワー（綱引き）を行いました。ボランティアさん、スタッフさんのおかげで怪我や事故もなく大会を無事終了する事が出来ました事を深く感謝致します。



北海道新聞 2015年4月9日（木曜日）

リングブルと交換
おびったに車いす
NPOが寄贈

NPO法人旭川障害者連絡協議会（高津修理事長）は、13年かけて集めたリングブルと交換した車いす1台を旭川市障害者福祉センター・おびったに寄贈した。同協議会は、おびったが開設された2002年7月、1階にリングブルの回収ボックスを設置。今年3月までに約700き分が集まり、リングブル再生ネッ



リングブルと交換した車いすと高津理事長

トワーク（江別市）に回収してもらい、軽量タイプの車いす1台を受け取った。1日におびったに寄贈した同協議会の大山嘉孝事務局長は「多くのみなさんの協力があつて実現することができた」と喜ぶ。おびったの北野和彦所長は「8台目の車いすになるが、1台でも多い方が助かる。イベント時などに活用したい」と話していた。（高橋毅）

旭議議第39号-5
平成27年3月25日

北海道難病連旭川支部
支部長 工 藤 フ サ 様

旭川市議会
議長 三 井 幸 雄

陳情の審議結果について（通知）

先に提出されました陳情は、次の理由によって、本市議会（3月25日）において、採択と決定いたしましたので御通知いたします。

1 件 名 陳情第42号 難病相談支援センターの設置等について

2 理 由 広い北海道内の多くの相談業務を札幌市の難病相談支援センター1カ所では対応するには限界があること、また、道北の拠点都市として旭川市にも難病相談支援センターが必要であり、設置に向けて道に積極的に働きかける必要があることから、願意妥当と認め、採択と決定。

子育てや地域医療
国・道へ要望決める
道北市長会
旭川市は8月のユニサ

【富良野】道北市長会が6日、市内の新富良野アリスホテルで開かれ、子育てや医療に関する国や道への要望を申し合わせた。富良野、旭川、十勝、名寄、留萌、稚内、紋別、深川、芦別、9市長で構成。要望は道北市長会で協議し、今後の要望に反映される。新しい子ども・子育て支援制度をめぐる利用者負担に際して、3人以上の子世帯で負担増が想定される現状が報告された。夫婦と子ども2人の世帯を想定した市町村民税の所得割額で算定しているため、制度の改善と、自治体独自の影響緩和策に向けた国へ財政措置を求めた。

道の地域医療構想策定については、慢性期病床への転換に伴い「急性期を含む一般病床が大幅に減る可能性がある」と懸念の声を上げ、道に地域事情への考慮と自治体病院への支援を要望。札幌市にしか拠点がない、難病相談支援センターの複数設置も要求した。

旭川市は8月のユニサ

国や道への要望をまとめた道北市長会

平成27年度 道北市長会

ハリスンクでの日本食文化週間事業について、国の公募事業を活用する方針を報告。日本の食を通して農産物の販路拡大を目指す事業で、採択されれば、道北9市の事業として取り組むよう提案した。（鈴木雅人）

「難病相談支援センター」の設置等について

難病法が成立し対象疾病の拡大により難病相談の支援もサービス利用の方法も窓口を拡大しなければ対応が難しいと早くも一般社団法人旭川翔輝会北海道難病連旭川支部は2014年9月12日に陳情書を提出。2015年3月25日に本市議会で採択しました。また、6月26日に北海道議会各会派へも要請をして来ました。

お知らせ 7月1日から受付開始

▼7月1日から難病の方へ向けた「難病医療費助成制度」の対象疾病306疾病に拡大、担当する保健所（保健センター）で申請受付中。
また、同じく7月1日から「障害者総合

支援法」の対象疾病332疾病に拡大、サービス利用申請受付中と大きく変わりましたので、市区町村の担当窓口でサービスの利用を申請できるようになりました

■発行日／2015年7月25日

■編集／NPO法人 旭川障害者連絡協議会

■発行者／理事長 高 津 修

■印刷：就労継続支援B型事業所「かがやき工房」〒070-0035 旭川市5条通5丁目1690-1 TEL・FAX 29-1294

NPO法人 障連協にゆーす 第35号

■住 所／旭川市宮前1条3丁目3番7号

障害者福祉センター「おびった」3F

■電話・FAX／0166-31-2226